

日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集・発行人 島田 泰助

林活地方議連全国連絡会議 第3回役員会が開催されるとともに 国会議員等への要請活動を展開

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祭日は
繰り下げ発行となります。

11月16日(木)13:30～、溜池山王駅近くの会議室で令和5年度の林活地方議連全国連絡会議の第3回役員会が出席議員を増やして開催されました。冒頭、服部宏昭会長のご挨拶に続き、ご来賓の日本林業協会・島田泰助会長からご祝辞をいただきました。

議事は、「令和6年度・林野関係予算に関する要請書」及び「令和6年度・税制改正に関する要請書」の審議で、満場一致で了承されました。

審議終了後、ご来賓としてご出席いただいた林野庁計画課の齋藤健一課長の講話が行われました。齋藤課長からは、令和5年度林野関係補正予算の概要や森林環境譲与税について丁寧なご説明をいただきました。

役員会終了後、各役員及び出席議員の方々は4班に分かれて議員会館に向かい、計32名の国会議員に要請書をお渡ししました(詳細は『森林と林業12月号』で紹介いたします)。

目次:

林活地方議連全国連絡 会議第3回役員会 が開催	1 ・ 2
「新しい林業」 経営モデル事業の事業 推進調整会議が開催	3 ・ 4
国会・業界 行事日程(11月)	5 ・ 6



挨拶する服部会長及び臨席の市村副会長(右)、佐々木幹事長(左)



祝辞を述べる島田会長



説明される齋藤計画課長

【服部会長の挨拶】

役員の皆様方には、大変お忙しい中、本日の役員会に御出席いただき感謝申し上げます。特に今回は、来年度の税制改正の目玉になります、「森林環境譲与税」の配分見直しがあり、林活議連といたしましても積極的な地方の声を挙げていく必要があると考え、各県議会での意見書の採択に向けたお願いを会長名でさせていただいたところです。

おかげさまで、6月議会及び9月議会での採択に加え、昨年度末に採択いただいた意見書も含めて30件の採択がなされました。皆様の御協力にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

また、本日の役員会及びその後の国会議員等への要請活動についても、林活議連としての強い意向を示す観点から、役員以外の議員の方にもご参加いただいております。重ねてお礼申し上げます。

本日は、御来賓としまして、林野庁森林整備部の齋藤 健一計画課長、日本林業協会の島田 泰助会長はじめ中央懇談会のメンバーの方々に御同席いただいております。御多忙の中、御出席くださいますと誠にありがとうございます。本日の会議での御審議及び要請活動につきまして、よろしくご協力くださいますよう重ねてお願いいたします。

林活議連全国連絡会議 令和5年度第3回役員会出席者名簿

役職	役員	都道府県	今回ご出席いただいた議員
会長	服部 宏昭	長野県	
副会長	市村 仁	岡山県	河野 慶治 幹事
	村下 貴夫	岐阜県	
幹事長	佐々木祥二	長野県	
幹事	三好 雅	北海道	
	川口 一	秋田県	石田 寛 事務局長
	谷 洋一	和歌山県	鈴木 徳久 幹事
	宮本 欣貞	香川県	
監事		鳥取県	銀杏 泰利 副会長

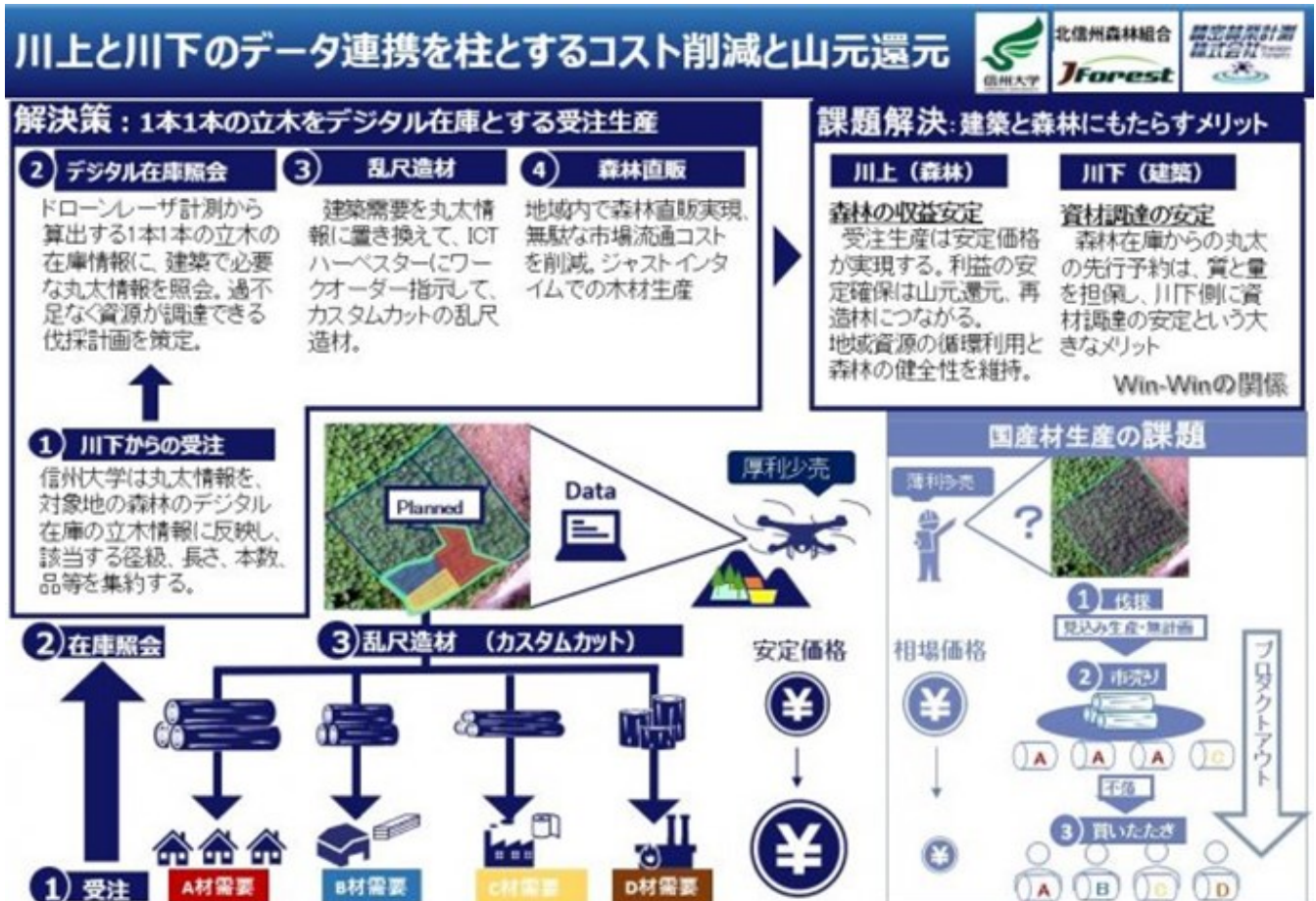
「新しい林業」経営モデル事業の事業推進調整会議が 全国12地域の参加で盛大に開催!!

(一社)林業機械化協会が実施主体となって進めている林野庁の『「新しい林業」経営モデル事業』の事業推進調整会議が、12月4日(月)午後及び5日(火)午前にわたって開催され、全国12の指定地域の担当者が参集して、令和5年度の事業の進捗状況の報告及び各事項ごとに分かれてのグループセッションが行われました。

4日(月)午後に行われた各実証団体の進捗状況報告の中から、長野県のグループが取り組んでいる『川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業』の内容をご紹介しますとともに、5日(火)午前に行われたグループセッションの中から、「ICTハーベスタの実証結果と活用可能性について」の討議内容から興味深い発言の一部をご紹介します。

まず、『川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業』に関する報告は、信州大学の加藤正人教授から行われました。事業の目的は、川上の森林資源をデジタルデータ在庫として管理し、造材・製材による住宅資材としての利用方法と歩留まりを計算し、実際に加工して住宅2棟分の資材供給を行って、この間の流通コスト等の削減分を山元に還元しようとする構想です。

実際に、立木の形状をデジタル化し、住宅資材に適した立木を選定・伐倒。製材所に運んで検品して曲がりや品質等により不適合の丸太を除外(30本中23本が不適合)。適合した7本からパネル材に製材し貸家2棟を建築。川上と川下を直結することでコストダウンを図り、その分を山元に還元して再造林に充てる仕組みであり、一定の成果が上がっています。不適合の丸太の活用方法や山元での不適合立木の削減方法などが今後の課題と考えられます。



事業概要(出展：信州大学農学部公表資料)

次いで、「ICTハーベスタの実証結果と活用可能性について」のグループセッションに参加された、岩手県グループの(株)柴田産業専務取締役の柴田智樹氏しばたともきから以下のような発言がありました。

- ① 「ICTハーベスタの実証試験において、素材生産の管理(いつ、どのような丸太が生産されたかが分かる)や作業進捗の管理(どの中間土場にどれだけの丸太が集積されたかが分かる)、ハーベスタによる伐倒時のカラーマーキング(フォワーダのオペレータが径級区分で迷う時間が短縮できる)などの効果が確認できた。
- ② 各作業者の出来高が”見える化”できることで、作業条件の違いに応じた生産性の分析や全体の工程管理ができるようになること、ハーベスタとフォワーダのオペレータ間のデータ共有により意思疎通が円滑化すること、熟練者のスキルを新規参入者や若年者に伝達しやすくなること、など、高性能機械導入による生産性向上とは別の効果が確認できており、将来に向けての人材育成や新規参入者の確保の面での効果も期待できる。
- ③ データの”見える化”と情報の共有、意思疎通の円滑化は、災害の抑制やチーム内の人間関係の改善にもつながることが期待されるとともに、作業実態が”見える化”されることに対する「監視されているのではないか?」といった疑念は見られないことから、作業実態のデータ化及び管理者・作業者間での共有が前向きに捉えられており、単なる機械化の促進に留まらない、林業そのものを変えていく可能性にも繋がっていくのではないかと、という期待が持てる。

限られたセッション時間でしたが、それぞれの地域での課題や実証の目的達成の難しさ等についての切実な発言がなされる一方で、柴田専務の発言は非常に頼もしく、将来への期待を抱かせるもので、初めてのセッションの成果が実感できました。



「ICTハーベスタの実証結果と活用可能性について」のグループセッションの様子(左奥が柴田専務取締役)

令和 5年 11月 国会の動き

《国会関連》

- 1日(水) 参・予算委員会 総括質疑
 8日(水) 衆・農林水産委員会
 大臣所信に対する質疑
 9日(木) 参・農林水産委員会
 大臣所信に対する質疑
 16日(木) 衆・災害対策特別委員会
 大臣所信に対する質疑
 参・農林水産委員会、一般質疑
 17日(金) 参・災害対策特別委員会
 大臣所信に対する質疑
 20日(月) 衆・参 本会議
 財政演説、国務大臣の演説
 に対する代表質問
 21日(火) 衆・予算委員会
 令和5年度補正予算基本的質疑
 22日(水) 衆・予算委員会
 令和5年度補正予算 基本的質疑
 24日(金) 衆・予算委員会 令和5年度補正
 予算 締めくくり質疑
 衆・本会議
 令和5年度補正予算日(予算委)
 <緊急上程>
 27日(月) 参・予算委員会
 令和5年度補正予算 総括質疑
 28日(火) 参・予算委員会
 令和5年度補正予算総括質疑
 29日(水) 参・予算委員会
 令和5年度補正予算
 締めくくり質疑
 29日(水) 参・本会議
 令和5年度補正予算(予算委)
 <緊急上程>

(次頁に続く)

令和 5年 11月 業界の動き

- 10月30日(月)～11月2日(木)
 FAO(国連食糧農業機関)及び林野
 庁「世界森林資源調査評価」の精
 度向上に関する国際ワークショッ
 プが開催
 2日(木) 「合板の日」実行委員会
 日本合板検査会に林野庁長官感謝
 状を授与
 9日(木) 日本ウッドデザイン協会
 「ウッドデザイン賞2023」上位賞
 を発表(最優秀賞は「林業×福祉連
 携プロジェクト『tebaco』)
 9日(木) 奄美大島流域森林・林業活性化セ
 ンター、与論町、大島支庁「奄美
 群島植樹祭」約70名が参加して
 開催
 10日(金)～12日(日)
 日本自然保育学会 北海道恵庭市で
 「第8回大会」を開催
 12日(日) 第46回全国育樹祭茨城県実行委
 員会「誰かじゃない 僕が育てる
 緑の日本(大会テーマ)」を掲げ
 「第46回全国育樹祭」が茨城県水
 戸市で開催
 12日(日) 会津里山森林資源育成研究会
 「桐と桐文化の恵みに感謝する植
 樹祭」約70名が参加して開催
 12日(日)～13日(月)
 林業機械化協会
 「2023森林・林業・環境機械展示
 実演会」80社出展、25,000人来場
 して開催
 15日(水) 山梨県、やまなし森づくりコミッ
 ション「やまなし森づくりフォー
 ラム」を開催
 17日(金)～18日(土) 全日本竹産業連合会
 「第64回全国竹の大会栃木県大
 会」を開催
 20日(月) 野村不動産(株)「野村不動産溜池
 山王ビル」の報道関係者向け見学
 会を開催
 21日(火) 森林整備治山事業緊急決起大会
 22日(水) 全国治山林道協会会長会議
 (治山林道のつどい) (了)

令和 5年 11月 国会の動き

- 《政党関連》
- 2日(木) 公・農林水産部会
税制改正・政策要望等について
- 8日(水) 公・政調、サーキュラーエコミー・循環型社会推進会議 第五次循環基本計画の策定に向けた具体的な指針について
- 8日(水) 公・農林水産部会
令和5年度補正予算重点事項(案)について
- 9日(木) 自・政調、環境部会、環境・温暖化対策調査会、原子力規制に関する特別委員会 合同会議 1. 令和6年度税制改正要望事項(案)について
2. 令和5年度補正予算(案)について
3. 令和5年度原子力総合防災訓練の実施について
- 9日(木) 自・政調、外国人労働者等特別委員会 有識者会議の開催状況について
- 9日(木) 公・農林水産部会
税制改正・政策要望等について
- 10日(金) 公・政調、政調全体会議
- 14日(火) 公・東日本大震災復興加速化本部
・帰還困難区域における避難指示解除に向けた取組みについて(復興庁)・ALPS処理水の状況について(経済産業省)・「東日本大震災からの復興の状況に関する報告」および「復興加速化のための第11次提言」のフォローアップについて(復興庁)
- 15日(水) 自・1. 令和6年度税制改正重点要望(案) 東日本大震災復興加速化本部 総会 2. 帰還困難区域における避難指示解除に向けた取組みについて 3. ALPS処理水の状況について 4. 「復興加速化のための第11次提言」のフォローアップ等について
- 15日(水) 公・農林水産部会 令和6年度税制改正部会重点要望事項(案)について
- 16日(木) 自・政調、山村振興特別委員会
(1) 令和6年度山村振興関係予算概算要求等について
(2) 国土審議会山村振興対策分科会について
(3) 全国山村振興連盟からの要請等
- 16(木) 自・政調、北海道総合開発特別委員会
(1) 北海道開発における主要課題等
・北海道開発における主要課題について
・第9期北海道総合開発計画(素案)について
・ゼロカーボン北海道の最近の動きについて
・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策について
・来年度予算の要望について
(2) 「北海道の持続可能な開発の実現と北海道開発予算の拡充等に関する申入れ(案)」決議
(3) 「「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた効果的な取組の推進に関する申入れ(案)」決議
(4) 「北海道における日本溝・千島海溝周辺海溝型地震対策の推進に関する申入れ(案)」決議
(5) 「国土強靱化実施中期計画の早期策定に関する申入れ(案)」決議
- 16日(木) 公・外国人材の受入れ対策本部 有識者会議の開催状況について
- 22日(水) 自・政調、総合農林政策調査会・農林部会合同会議
(1) 収入保険と野菜価格安定制度の同時利用について
(2) 森林環境譲与基準の見直しについて(吸収源対策PTとりまとめ報告)
- 22日(水) 公・政調、サーキュラーエコミー・循環型社会推進会議
- 22日(水) 自・国土強靱化推進本部
令和5年度補正予算(国土強靱化関係)について
- 29日(水) 公・外国人材の受入れ対策本部 有識者会議の開催状況について(報告) 出入国在留管理庁よりヒアリング
- 30日(木) 自・政調、総合農林政策調査会、農林部会合同会議 (1) 「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」に基づく具体的な施策について(食料・農業・農村基本法検証PTとりまとめ)
(2) 令和6年度農林関係予算編成大綱(案)について